



# 一番星通信

第124号

発行 船橋市生涯学習  
コーディネーター連絡協議会  
発行者 会長 斎木 成治  
船橋市新高根6-12-29  
TEL 047-462-5909  
(Email: s.saiki0009@jcom.zaq.ne.jp)  
発行日 2023年12月12日

## 一番星通信の充実を求めて

広報委員長 酒本 康雄

### 一番星通信のこれまで

一番星通信は創刊以来124号となりました。私の手許にはコー連協入会後の第20号（2006年4月発行）以降の全号がありますが、現在同様隔月に発行されています。年月を経ると共に内容も豊富になり、第35号以降は8頁立てとなっています。公民館活動記事が中心となっていますが、会員投稿記事も多く「リレーエッセイ」は創刊まもなくから掲載されていて現在も続く看板シリーズです。

このように20年余に亘り継続してきた一番星通信ですが、今日改めてその在り方を見直す時期が到来しているように思われます。

### 一番星通信の役割の再確認

その一つはIT化の進展に伴い、紙媒体とWEB利用とをどのようにしていくかということです。

次に、社会が大きく変容する中で、生涯学習・社会教育もこれに対応していくことが求められており、社会教育施設である公民館事業をサポートする私たちに欠かせない情報として、その内容を会員に伝えていく必要性です。

また、一番星通信は会内の動向、則ち役員会での決定事項や各ブロックの活動状況を会員に伝え、これらを共有してもらう役割もあります。

これまで各ブロックの情報は広報委員会から記事依頼する形をとっていましたが、今後は各ブックから自発的に情報を提供してもらうと共に、会員諸氏にも積極的な投稿を求め会員全体で紙面づくりをしていくようにしたいと考えています。

コー連協という一つの組織内で活動していく以上、会員同士が各種情報を共有することは当然で、その在り方を会員みんなで工夫していかなければならないと考えています。

### 一番星通信の充実を求めて

一番星通信が会員の皆さんにとって、必要で欠かすことのできない記事で埋められるようにしていかなければならないと思います。隅から隅まで読んでいただけるようにすることです。

そのためにも、現在の広報委員会の体制では不十分です。もっと多数の方に参加していただき、多様な意見を集約していく必要があります。是非、一番星通信充実のため多くの方の参加をお願いいたします。

一番星通信は研修委員会・情報化委員会の双方とも密接な関係があります。今後は専門委員会同士の連携も視野に入れながら、お互いの充実を図っていくことが大切だと考えます。

みんなのための一番星通信を目指してみんなで頑張りましょう！

一番星通信は、年一回、隔月に発行している船橋市生涯学習コーディネーター連絡協議会の機関誌です。会員はじめ、学びのコーディネーター・科学学生、市立大生、市内の公民館、社会教育館等、船橋市の関係機関にも配布されています。

10年目の第50号！  
皆の力を合わせて次の10年へ

平成23年総会開催 4月23日(土)午後3時半～ 船橋市中央公民館第3、4集會室にて

平成23年4月現在会員数 189人(女性 96人 男性 93人)

ブロック別・男女別		年度別・男女別	
区別	人数	年度	人数
東部	15	12	14
東部	15	13	10
西部	22	14	5
西部	27	15	13
南部	16	16	23
南部	22	17	18
中部	11	18	18
中部	10	計	189

船橋市生涯学習コーディネーター連絡協議会 一番星通信第50号特別版 平成23年4月28日発行



124号編集会議を終えて

## 公民館長メッセージ

## 魅力ある学びを共に

三田公民館長 松下 哲子

船橋市生涯学習コーディネーターの皆様には、日頃より公民館事業にご協力いただき、誠にありがとうございます。

三田公民館長の松下と申します。令和3年4月1日、新型コロナウイルス感染症で休館していた公民館が、ようやく再開した日に着任し3年目となります。その際、久しぶりに公民館を利用される皆様が大変嬉しそうに館内に入ってくるのを迎え、公民館は地域の方々にとってとても大切な場所であることを感じました。

いまだコロナは終息にいたっておりませんが、三田公民館では年間を通して、生涯学習コーディネーターの皆様とコロナ禍以前のように協働での事業を開催できるようになりました。

なかでも「三田セミナー」は、毎年度テーマを決め実施しており、今年度は「健康とくらし～マイライフシリーズ」をテーマに、地域の「騎兵第1旅団散策」や幅広い年代の方が楽しめる「ヨガ」など、様々な講座を前期・後期合わせ計8回を開催しているところです。私自身、これまで公民館や社会教育の場での勤務経験がなかったこともあり、講座の企画・運営において、コーディネーターの皆様がこれまで培ってこられた経験や知識そして行動力に何度も助けていただきました。心より感謝しております。

地域において生まれる課題を見つけ講座に反映していくこと、そこで暮らす方々がどういった学びを必要とし魅力を感じるのか、地域を良く知るコーディネーターの皆様と共に考えていくことが大切だと思っております。どうぞ今後ともお力添えよろしくお願いいたします。



## 公民館長メッセージ

## コー連協コーディネーターに感謝・期待して

習志野台公民館長 畑 俊一

習志野台公民館の畑（ハタ）と申します。

平成22年の海神公民館を最初に、南部ブロック、北部ブロックと4館を経て、令和5年4月に習志野台公民館に着任しました。

各ブロックのコーディネーターの皆様と一緒に事業を実施して10年以上になりますが、振り返ってみると、いろいろな思い出がよみがえります。東日本大震災の後、防災に関する講座を企画したこと、環境やエコに関する講座や、講座の参加者があまり集まらなかったことなど、楽しかったり、大変だったり、たくさんの方のことをコーディネーターの皆様と一緒にやってきたんだと実感しております。

習志野台公民館でも月1回のコーディネーター会議に参加させていただき、講座の企画や内容を話したり、事業の打合せ等をしております。コーディネーターさんもあらゆる経験をお持ちで、市の施策や抱えている問題など、よく学ばれており、私もいろいろと教えていただくことも多く、大変楽しく参加しております。令和5年度は、習志野台寿大学、習台ときめき講座、歴史講座、地域ふれあいコンサート、アンガーマネジメント講座の5つを一緒に考えて開催しているところです。

コーディネーターさん自身が、「土日開催をしたい」「若い人や親子をターゲットに」等、あらゆる視点から考えてくださるので、公民館としても気づかされる点も多く、大変ありがたく感謝しております。

コー連協の皆様も、「第三次船橋市生涯学習基本構想・推進計画（ふなばし一番星プラン）」に沿って、会員の皆様のステップアップに取り組んでいるとお聞きしております。

公民館もコロナ禍以前の状態になってきておりますので、今後もアドバイス等いただき、課題解決に向けて、連携を強化し、一緒に考えていけたらと思っております。よろしくお願いいたします。





## 《東部ブロック》 はさま建物探訪 ～丸の内から霞が関へ～

26年度生 平山 恭子(学芸員)

「はさま建物探訪」は、昨年までの「はさまぶらり旅」から名称を変え、第一回として2023年(令和5年)9月29日(金)に実施されました。筆者自ら講師を務めさせていただきました。

コースは、東京駅(丸の内駅舎)…丸の内ビルディング(100年前の旧建物の杭)…丸の内仲通り(ラクビー神社見学他)…明治生命館(内部見学)…桜田門…法務省旧本館(内部見学)…法曹会館…旧日比谷公園事務所…DNタワー…三菱一号館美術館(改装中)…東京駅。参加者は20名、公民館から2名、コーディネーターは筆者を含め3名。

丸の内は江戸時代には武家屋敷、明治になり軍隊が置かれ、その後軍隊が移転し荒野となる。明治23年払下げがあり三菱社が買い取る。明治27年にジョサア・コンドルの設計で三菱一号館、翌年に二号館が建設され、その後二号館は昭和9年に岡田信一郎、捷五郎兄弟の設計で明治生命館となった。この建物は第二次世界大戦後GHQに接收された歴史がある。また、政府も世界に国力を示そうと、そのひとつとして明治28年ドイツ人の設計による法務省庁舎など庁舎の建設を始めた。

今年7月より、明治生命館の一般公開の時間が土日や平日夕方から平日の9時30分から変わったことで、丸の内の歴史をより詳しく学ぶことができると思い、この散策を計画しました。加えて法務省旧本館の建物を見学することで、丸の内、霞が関の歴史を学べるコースともなりました。明治生命館や法務省旧本館が内部見学できることを知らない人も多く、再訪したいと話す参加者もありました。



【明治生命館前】

## 《北部ブロック》 健康セミナー『毎日の食事で健康になろう』

19年度生 笹谷 こずえ

八木が谷地区社会福祉協議会・八木が谷在宅介護支援センター・八木が谷公民館共催で行う健康セミナーは、年に9回行われます。今回11月1日は6回目となる『毎日の食事で健康になろう』ということで、船橋二和病院管理栄養士の玉川雅江さんをお迎えしての講座です。今までは体を動かす脳トレゲームや、血流改善のための入浴法、元気な生活を送るための代謝・脂肪・血圧、口腔ケア、気軽な体



操のお勧めなどです。今回は食事で健康。まずは禁煙、節度ある飲酒、自身の適正体重を知り測る習慣を身につけ、そしてバランスの良い食事をする事。バランスの良い食事は主食+主菜+副菜を揃えて食べる事を心がけること。但し毎回バランス良く揃えることが難しい時は一日の食事の中で調整、我慢せずに好きなものを食べたら後で調整すれば良く、毎日の献立も栄養など考えるのは大変なので市販品も上手に利用しストレスにならぬよう『上手に手抜き楽しく健康』が一番とのこと。休憩時間の参加者同士の楽しそうなお喋りなど見聞きしていたある講師が、人と話したり、笑ったりすることが健康に一番と言っていました。

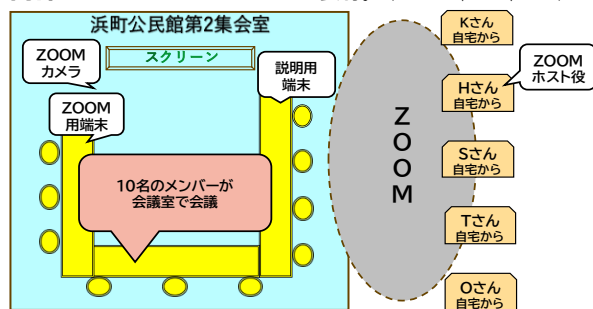
これからも公民館と参加者を結ぶ場所づくりに協力していきたいです。

## 《南部ブロック》

## 令和5年10月ハイブリッド南部ブロック会議

29年度生 岡田 裕三

### 南部ハイブリッドブロック会議 (2023/10/15)



2023年10月15日午前中は大雨の予想であった。その為、出席困難者が出ることを危惧し、前々日に急遽会議をハイブリッドで実施する事にした。初めての試みのため、会議を上手く進行できるか不安があったが、十分な打ち合わせ等の用意をする時間はなかった。当日浜町公民館に参集したメンバーは10名、自宅からZOOMでオンライン参加したメンバーは5名であった。うち新入会員1名は初めてのブロック会議出席をオンラインで達成した。

会議の進行は浜町公民館側。ZOOM画面上に映し出す資料のコントロールは外部オンライン参加者側に配置し、会議を進行した。会議自体は大きなトラブルは無かったが、会場側とオンライン側の出席者の一体化に関して重要な教訓を得た。

- ・会場に説明文書用のプロジェクター用端末とZOOM用端末の2台を置いたが、会場内発言者の声がオンライン側メンバーに届きにくい事があった。発言者の声を確実に拾えるよう会場内ZOOM端末は移動が楽な小型(例えばIPAD)にすべき
- ・オンライン側の発言はZOOM端末を介して会場側のメンバーが聞くため端末から遠い人には聞こえにくかった。端末の声を大きくするスピーカー装置を準備すべき
- ・固定カメラで会場内を映していたため、オンライン側メンバーには会場の雰囲気や伝わりにくかった。会場内の色々な動きをオンライン側メンバーに伝えられるようZOOM端末を持ち運びが楽な小型にすべき
- ・会場側のプロジェクター用端末はZOOM用端末にした方が良い。2台ともZOOM端末にし、オンライン側のメンバーをスクリーンに投射し、あたかも全員が会場にいるようにすべき

今後のブロック会議は可能な限りハイブリッドで行い、出来るだけ多くの会員が会議に参加できるよう対応を図りたい。移動が難しい・忙しい・市外に滞在中などの事情があっても、一人でも多くの会員がブロック会議に参加できるようになることをゴールとしたい。



## 公民館・コー連協合同ステップアップ研修会開催について

研修委員長 山田 正明

公民館の役割である「地域課題解決の取組を目指す行動」につながる研修会を、船橋市教育委員会共催にて昨年に引き続き開催します。今回のテーマは、「公民館職員とコーディネーターの連携による地域課題解決～より良い公民館活動に向けて～」です。講義・グループ討議をおこないます。多数のご参加をお待ちしております。

- ・日時：2024年(令和6年)1月31日(水) 14時～16時30分
- ・会場：船橋市中央公民館 第3・第4集会室
- ・講演テーマ：公民館職員とコーディネーターの連携による地域課題解決  
～より良い公民館活動に向けて～
- ・講師：山本珠美氏(青山学院大学教育人間科学部教授)
- ※講演後はグループに分かれて、公民館職員とコーディネーターで30分程度の意見交換、発表。

【申込締切】 2023年12月28日(木)

【申込先】 各ブロック長(輪番も含む)、研修委員長(山田正明 zta11573@nifty.com)まで。

※詳細は、チラシ または HP でご確認ください。



## 《中部ブロック》

## ゆうゆう塾第1回

## アイリッシュハーブと朗読で綴る「心を癒す大人の絵本」

R1年度生 齋木 成治

- 1、開催日時 2023年10月21日(土) 13:00~15:30
- 2、開催公民館 新高根公民館
- 3、参加者 一般47名、中部コーディネーター5名の計52名、公民館1名
- 4、講師(出演者) 朗読 竹俣恵子さん(中部ブロック会員)  
アイリッシュハーブ演奏 吉田清子さん  
ナレーター 馬場悦子さん(中部ブロック会員)



## 5、講座内容

- 一部 朗読演目「おおきな木」シェル・シルヴァスタイン作・絵 本田錦一郎 訳  
吉田清子さんのアイリッシュハーブ演奏に乗せての“無償の愛”の朗読は心にしみた。また吉田さん自身の作の動画と演奏で「チコのルーティーン」と共にアイルランドの調べが披露された。
- 二部 「おとうとものがたり」は、「それいけ!アンパンマン」で著名の「やなせたかし」の生い立ち、戦死した弟との思いを綴った幼物語(レクイエム)。吉田さんのハーブ演奏、馬場さんのナレーション、竹俣さんの朗読の共演には胸を打たれた。
- 参加者のみなさんは静かで心温まる時間をありがたうとの思いで帰路についた。

## 6、アンケートの集計結果

- 1)回収状況は、28名(約60%)、内訳：女性24名 男性4名。年代別では、70代50%、80代43%であった。この傾向は他の講座でも見られる。ぜひ参考にしてほしい。
- 2)評価は、大変良かった50% 良かった43% で高評価といえる。コメントとしては朗読とハーブ演奏の組み合わせに「心を癒された」との感想が大半を占めた。
- 3)講座をどのように知りましたかの問いには、広報ふなばし43%、チラシ・ポスターが29%であった。今後もこの結果を参考に公民館とより一層連携し、講座の充実開催に努めていきたい。

## 本部主催ブロック交流会の報告

会長 齋木 成治

11月19日(日) 高根台公民館講堂にて、今年度本部主催のブロック交流会を開催しました。

1. 出席者 21名(東部6名、南部2名、西部2、北部1名、中部4名 本部6名)  
参加者は少なかったが、その要因を深掘して反省し、次回に生かしていきたい。
2. 交流会は、二部構成で実施した。一部は一時間程度ポッチャゲームで軽く体をほぐし、二部は6~7名のグループに分かれて自己紹介、近況報告、コ連協への想について語り合った。幸い本部を含めほぼ全ブロックの混成が出来上がり、予想外に活発な意見交換が行われた。
3. 意見交換会における主要なコメントを抜粋して紹介する。
  - ブロック間の情報交換を検討すべきだ。
  - 会員の能力や目標を達成できるようなシステムを作る必要がある。
  - 平日又は昼間働いている人々に対する講座を積極的に作る必要がある。
  - 目標又は興味を共有し、ブロック間で話し合えるような場を設けるべきである。
  - 特定の要素(ex 防災)と親睦を組み合わせ会員同士の連帯感を高める必要がある。
  - 公民館とのかかわり方に差がある。退会者が増えているので悩む。
  - 若い人を取り込めるようにしたい。
  - やる事がマンネリ化になりつつある。会員でない人との連携は取りづらい。
  - 会員が減っている。ブロックの垣根を超えて活動できる仕組みが必要。
  - 楽しくできる新しい事業に挑戦すべきである。



本部としては、各専門委員会と連携し、「改善促進検討委員会」において改善に取り組むこととする。

ふなばし ぶらり

～意外性と、オンリーワンを探して～

観光みらいLABO 主宰（一般社団法人船橋市観光協会 事務局長）栗田 文彦

「船橋の魅力」として各所を様々な形で情報発信する機会が多いのですが、メディア等で取り上げられる機会が少なかったり、有名な場所でも“今”しか見られない光景というものには、一層魅力を感じています。今回はその中で厳選していくつかご紹介したいと思います。

### 1. こんな身近な場所で！？ 彼岸花の名所

関東で彼岸花の名所といえば、埼玉県の日高にある「巾着田」が有名です。コロナ禍で県をまたぐ遠方へのお出かけが憚られた時期に、穴場としてご紹介したのが「夏見緑地」です。約20万本と、規模こそ巾着田には及びませんが、バス通りからも隠れて見えないため、一歩中に入れば“穴場感”を感じることができます。



写真提供：まいぶれ船橋

### 2. 数十年に一度の光景！？ 羽根のないアンデルセン公園の風車



言わずと知れた船橋随一の名所「ふなばしアンデルセン公園」。

見慣れたあの「風車」が象徴的な風景です。その風車、建てられて30年経って初めて本格的な補修工事が来年3月頃まで行われています。デンマークから風車職人が2名来日し、近くに滞在しながら順調に工事が進められているのですが、今しか見られない貴重な光景、それは「羽根がない風車」です。工事の過程で羽根が取り外された状態の風車はどこか哀愁が漂っています。次この風景が見られるのは数十年後かもしれません。

### 3. 船橋に牧場が！？ 最先端に行く酪農と船橋産チーズ

アンデルセン公園の先、鈴身町にあるのが、「皆川牧場」です。県内初となる農場 HACCP 認証を受けたこの牧場で生産された牛乳から作られたチーズを商品化して、昨年からは販売を始めています。パッケージのマークには、昔の地名「行々林」という文字が「ODOROBAYASHI」と書かれており、牧場の地域に対する愛着が感じられます。普段は一般の方は立ち入れませんが、不定期で牧場体験の企画も行っており、子供たちにも知ってほしい船橋の“宝”です。



～ 広報委員会より ～

- 「会員の声」「ふなばし ぶらり」へのみなさまのご投稿を、お待ちしております。次号の締切りは1月10日です。
- 広報委員会へのご意見・原稿の送付は、念のため以下の2カ所に送信をお願いします。

- ① [kouhou@corenkyo.com](mailto:kouhou@corenkyo.com) (広報委員会 Web メール)
- ② [wakamatu\\_ys@yahoo.co.jp](mailto:wakamatu_ys@yahoo.co.jp) (酒本委員長宛)

2024 年も  
皆さまにとって  
よい一年となりますように。



**市民大学校の窓**

### 学びの場となる講座を計画

**ふなばし市民大学校 捧 優子**

早いもので授業の半分以上を終了し、いよいよ生涯学習フェアで行う講座を企画する時期になりました。

9月、10月は講座の作り方について学ぶ授業が多くありました。実際に公民館に勤務した経験のある佐藤晴雄先生の授業では、講座は魅力あるテーマやプログラムが大事であることやコーディネーターの役割、学校の学びと地域の学びの違いについて説明があった他、来賓席を設ける場所であるとか定期講座を行うときのプログラムの順番、野外活動でキャンプファイヤーを行う日程など公民館でイベントを実施する場合の注意点を説明いただきました。先生の著書には初めての人でもわかるように具体例が書いてありましたので参考になると思います。

山本珠美先生の授業では、学校教育は全国一律だが社会教育は地域の課題に対応している。例として少子高齢化が進む香川県の離島で、人に来てもらうことを目標に大学生と行った夏休みイベントの説明がありました。島の材料を使ったフォトフレーム作りや香川ということから流しそうめんではうどんも流すなど、楽しくて素晴らしい取り組みであったことが伝わりました。また、公民館に関係する法律のことや、第4回ちば講座アワードでは船橋市の「ふなっこ未来大学 Funaversity」が大賞を受賞したこともお話しいただきました。参考資料として配布された、岡山県公民館連合会発行の「公民館職員のための事業計画ハンドブック」は、公民館で働くことになった新人職員の皆さんにもぜひ読んでいただきたいと感じました。

今年度の生涯学習フェアは2月4日日曜日に中央公民館で行います。皆さまの参加をお待ちしております。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ **＜リレーエッセイ＞** ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

#### 朝、起きた時今日も楽しく過ごそうと思う

令和3年度生 猪俣 君子

若い時には何も考えず、睡眠時間が少なくてもやりたい事をし、食べたいものを食べ、結構元気に過ごしていた。しかし、年々歳を追う毎に健康に過ぐすということに、興味惹かれる歳になってきた。

本やテレビ、雑誌などにそういう言葉があふれているように感じる、いや、自分が意識する様になったのかも？とも思う。(笑笑)

今年はじめ、きょうから始める健康習慣という番組を観た。楽しく生き生きとした毎日を送る為に3つの習慣があるという。

\*音読で能力アップをする

\*筋トレは中高年ほど必要

\*心を軽くする

右の2つはよく耳にする。

私が興味ひかれたのは音読で能力アップするという言葉だった。音読は脳全体を使う。筋力と同じで、使えばつかうほど改善が期待できるという。又、黙読より音読のほうがよりにたくさん脳は働く。声を出し、その声を聞くことでいろいろな脳のつかい方ができるといふ。

そういうばかりで学生だった頃、声を出して、それを聞いて、書くときよく覚えられと誰かに教えてもらった事を思い出した。

そして、脳の司令塔である前頭前野をたくさん使う事で脳は元気になっていくそうである。

また、口、のども鍛えられ、その機能維持ができ、人生の豊かさにも繋がっていくという。そう思うと嬉しくなってくる。

人生100年時代を迎えた私達は、何か簡単なものから一つ、またひとつと毎日の生活に良いと思うものを取り入れて、今日も一日楽しかったとおもえるような日々を過ごしていきたいものです。老化防止にもなりますね。

・音読の極意 1 午前中にやる

2 速く読む 感情は込めなくてよい

単行本2ページ、新聞のコラム等

3 毎日やる

次号執筆者 R3年度生 倉田 陽子さん



☆☆☆ 本部役員会から ☆☆☆

2023年12月7日(木) 12:45~14:50  
中央公民館第6集会室にて開催

1.本部関連

- 1) 社会教育課関連について報告
- ・市民大の組織体制「ふなばし市民大の委託の検討について」の説明が藤井課長よりあった。
- 2) 市民大関連について報告
- ・12月9日 次年度説明会に参加予定。
- ・卒業生(R3.4)を中心とした講座を2月4日の生涯学習フェアと一緒に開催を計画したが、多忙のため年度内実施を視野に変更との報告があり、了承された。
- ・コーディネーター養成学科 “学び直し” について 聴講希望者はのべ10名程度、会長より聴講の奨励があった。
- 3) 会員数と未納状況の報告(2023年11月末現在)
- ・会員数 133名、 ・未納者 3名(南部)
- ・年度当初より9名の減少が確認された。ブロック長に未納者への会費の納入を確認するように要請。

2.専門委員会の動き

- 1) 研修委員会(山田委員長)
- ・事例発表会について  
令和5年12月8日(金)13時~14時45分  
浜町公民館 講堂 にて
- ・ステップアップ研修会については、配布済みチラシより説明。詳細は本誌4頁参照。
- 2) 情報化委員会(林委員長)
- ・「魅力あるコー連協ホームページのために」というテーマで10月委員会後にR4年度生委員が中心にオンライン会議を4回実施。
- ①市民がコー連協の活動を分かるホームページへ。
- ②会員も見たくなる、価値のあるホームページへ。
- ③ブロック活動情報(チラシと写真だけでも)を募集して掲載を促進。
- 3) 広報委員会(酒本委員長)
- ・より良い編集制作のため、委員会内体制を一部刷新。一番星通信をみんなで創ろうという考えから、毎号の各ブロック掲載の協力をぜひお願いしたい。
- ・今後研修委員会・情報化委員会との三者で協議することを提案する。

- 3.ブロック活動報告(実績10~11月、計画12月~1月)
- ・別添の活動報告一覧にて、各ブロックから順次報告があった。

4.報告・要請事項

- 1) 名簿の総点検実施状況
- ・本部(会計・事務局)、広報委員会(郵送リスト)、ブロック所管リストの総点検を開始した。
- 2) ブロック交流会についての報告
- ・11月19日開催の本部主催ブロック交流会について、詳細は本誌5頁参照。
- 3) 公民館以外の生涯学習施設との情報交換について
- ・西図書館と情報交換の実施をした。(11月15日)
- ・コー連協の強味を活かし、生涯学習施設である図書館とも連携し、活動の幅を広げる。今後、相互の実務者レベルの懇談を継続することとした。
- 4) 活性化促進検討委員会の経過報告
- ・第2回委員会は12月7日に開催。メーリングリストを活用した「人材応援システムの進め方、工程作成について」を議論した。議事録は委員に送付する。
- 5) サポートセンターからの連絡
- ・打合せコーナーの使用については、サポートセンター(047-423-3483)に事前確認すること。
- ・市民協働課主催、サポートセンター運営協議会市民交流参加事業(講座開催)については、来年度の対応について検討していくこととする。
- ・広報誌「しみんしょく」はSNSでも発信している。“X しみんりょく@船橋”でもアクセスできる。またBLOG投稿も本部経由で可能である。 以上

\*\*\* ルームサポーターだより \*\*\*

生涯学習で学んだ成果の集大成を飾る「第37回船橋生涯学習フェア」に向けた作業がスタートしました。今年は早期にグループワークを通じて、コミュニケーションから生まれる相乗効果を体得し、ディスカッションにも熱量の高さを感じます。皆さんの知恵を集結して頑張ってください!

今年度のテーマは下記の通りです。

※詳細は広報ふなばし(2024.01.15)に掲載。

1. 世界トップクラスだった江戸時代の手習塾の教育実態
2. 船橋の産業の移り変わりを知ろう!  
~知れば知るほどおもしろい!~
3. 言葉の壁を乗り越えよう!  
~やさしい日本語でコミュニケーション~
4. 船橋食材でおしゃれな健康和食
5. 座ったままで踊れる「座よさこい 健康体操」



それぞれ、船橋への熱い思いを乗せ、どのような展開を見せていくのか楽しみです。

皆さんの想いが少しでも多くの人に届きますよう、サポートをしたいと思います。

E. I

◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇

今月の一番星通信を手にとっていただき、誠に有難うございます。

広報委員会では、本号を制作するにあたり委員会内体制を一新して読み安さを工夫しました。

又、会員の皆様と共に創る広報誌を目指し、今まで以上に生の声を拾い上げていきたいと思っています。

一番星通信は会員全員で創るものとする認識を共有していただき、積極的な投稿をお願いいたします。

様々なご意見を忌憚なく出していただき、一番星通信がコー連協にとって、なくてはならない広報誌になるよう充実させていきたいと願っています。

今年も、残される日はわずかとなりました。

どうぞ素適な新年をお迎え下さい。

(N.Y)

